

6月の開館予定						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月の開館予定						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

×印は休館日  
図書館の開館時間は9時からです。

### 【6月の展示】 6月は環境月間です

—身近なエコを考えてみませんか！—

「エコ罪びと」の告白	フレッド・ピアス著	日本放送出版協会
「エコうまに乗れ！」	滝 順一著	小学館
「毎日活躍エコバッグ」		ブティック社
「手作り eco zakka」		洋泉社



### お仲間募集中!! 『読み聞かせボランティア勉強会』

毎月第2火曜日午後1時30分～3時。土佐市民図書館会議室で行っています。テキストの輪読と読み聞かせの実技、情報交換などを行っています。ボランティアとして参加出来る方は、児童クラブや小学校、老人福祉施設などによみきかせに出向いています。

7月は講師に秋本美津先生をお迎えして「わらべうた・手あそびのお人形づくり教室」(2回目)をします。内容は『まめでっぼう』の人形づくりと遊び方です。今回の会場はとさし女性センターです。大変楽しい会です。お誘い併せておいでください。

編集・発行	土佐市立市民図書館
〒781-1101	土佐市高岡町甲 2177
TEL	088-852-3333
FAX	088-852-3484
発行日	平成21年6月8日

# 図書館だより 第3号

土佐市立市民図書館 発行 2009年6月8日

～図書館をもっと身近に暮らしの中に～



### 土佐市関係のパンフレットコーナーが出来ました!

カウンター左手に、土佐市関係の配布用パンフレットの棚を設置しました。現在、土佐市ウォーキングマップ(宇佐地区)(高岡地区)(戸波地区)、土佐市まちあるきMAPなどを置いています。「土佐市を知る」をテーマに情報提供のコーナーしにしていきたいと思っています。どうぞご利用ください。又、土佐市関係のパンフレットを作られた方、図書館に持ってきてくだされば、検討の上、置かせていただきます。よろしくお願ひします。



### 宇佐分館は花をテーマに展示をしています。

花シリーズNo.2は菖蒲・紫陽花です。展示している本  
◎色分け花図鑑花菖蒲 名前の由来と品種がわかる 永田敏弘著 学研  
◎アジサイの世界 その魅力と楽しみ方 家の光協会  
◎あじさいを楽しむ 人気の野生種・園芸種150余種と育て方 枅の葉書房  
花の種類、栽培の仕方が載っています。カラーのきれいな本です。貸出をしています。どうぞご利用ください。

	開館時間	休館日
本館	水・金・土・日 9時～5時 火・木 9時～6時	月・祝・年末年始(12/29～1/3) ばく書期間(11月のうち7日以内) 毎月(まいつき)の最後の金曜日
戸波分館	火～土 9時～5時	日・月・祝・年末年始
宇佐分館	火～土 9時～5時	日・月・祝・年末年始

## 新しく図書館に入った本!!



### フィクション

「文学2009」		講談社
「運命の人3」	山崎 豊子著	文藝春秋
「IN」	桐野 夏生著	集英社
「吉村昭歴史小説集成 第1巻・第2巻」		岩波書店
「ゼロの王国」	鹿島田 真希著	講談社
「緋色の空」	池永 陽著	講談社
「1Q84 BOOK1・2」	村上春樹著	新潮社

### ノンフィクション

「厚生労働省崩壊」	木村 盛世著	講談社
「新・介護食レシピ 食べる喜びを」	多田 鐸介著 阪急コミュニケーションズ	
「マタギ 矛盾なき労働と食文化」	田中 康弘著	榎出版社
「詩が生まれるとき」	新川 和江著	みすず書房
「がんこなハマースユタイン ヒトラーに屈しなかった将軍」	ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー著	晶文社
「天声人語 2009春」		原書房
「全国通信制高校案内 2009～2010年版」		学研
「正座と日本人 (The New Fifties)」	丁 宗鐵著	講談社
「指先の宇宙 福島智・盲ろうを生きて」	生井 久美子著	岩波書店
「世襲政治家がなぜ生まれるのか？」	福田 博著	日経BP社
「一文無しが贖札造って捕まって」	坂野 昭彦著	幻冬舎
「さよなら紛争」	伊勢崎 賢治著	河出書房新社
「銀座ミツバチ物語 美しい景観づくりのススメ」	田中 淳夫著	時事通信出版局
「コンサートが退屈なわたして変？」	クリスティアーネ・テヴィンケル著	春秋社
「10年後、あなたは病気になると家を失う」	津田 光夫著	日本経済新聞出版社
「「生きる」ために反撃するぞ! 労働&生存で困った時のバイブル」	雨宮 処凛著	筑摩書房
「家庭が崩壊しない間取り」	佐川 旭著	マガジンハウス

「命といふもの第2集 堀文子画文集」		小学館
「上機嫌な言葉 366」	田辺 聖子著	海竜社
「世界ステンドグラス文化図鑑」	ヴァージニア・チェッフォ・ラガン著	東洋書林

### シリーズ紹介 No. 2

#### ミス・ビアンカ シリーズ 1～7巻 (3年生くらいから)

マージェリー・シャープ著 渡辺茂男訳 岩波書店

彼女の名前はミス・ビアンカ。雪のような白い顔、深い褐色の瞳は知性をたたえ、教養のにじみ出る優雅な身のこなし、鈴を振るような美声。非の打ちどころのない美しい女性です。彼の名前はバーナード。がっしりとしたからだ、あか抜けないけれどまじめそうな顔つきの無口でシャイな青年。しかし、その胸の中は勇氣と情熱にあふれている。

あるミッションのために出会い、危険に飛びこみ、共に闘う。彼女は初めから、彼の憧れの女性だった。そして、いつしか彼女も、彼のことを…。ミッションが終われば離ればなれになる運命。しかし、新たなミッション、また彼らを結びつける。

と書くと、まるでハーレクインロマンスのようですが、彼も彼女もネズミなんですね。これが。彼らは、「囚人友の会」(監獄の中で、囚人にパンくずをもらってあげたり、愛らしいポーズをとってあげたりして、囚人をなぐさめる全世界的組織!!)の会員なのです。

罪なき詩人や誘拐された少女、過酷な労働に就かされている少年などを救出するために、あるときは恐ろしい古城へ、またあるときは地下の湖へ、さらには南極へと、彼らの冒険は続きます。

作者のマージェリー・シャープはイギリス人。大人のための小説をたくさん書いていて、映画や劇にされたものもあります。このシリーズもディズニー映画「ビアンカの大冒険」がありますね。訳者の渡辺茂男は児童作家。「エルマーのぼうけん」の訳者としても有名です。

このシリーズは、児童図書としてもたいへん優れた作品ですが文中に含まれるユーモアと風刺、そして、ミズ・ビアンカとバーナードのつかず離れずっぷりは、大人の読者を魅了してやみません。



- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1.くらやみ城の冒険 | 2.ダイヤの館の冒険 | 3.ひみつの塔の冒険 |
| 4.地下の湖の冒険  | 5.オリエントの冒険 | 6.南極の冒険    |
| 7.さいごの冒険   |            |            |